



常石グループ株式会社

社員の幸せを最優先に。
人を中心に未来を創る、常石グループの挑戦



創業120年を超える歴史を持ち、広島から世界へ『海』を舞台に事業を展開する常石グループ。同グループは、従業員の安心と企業の持続的な成長を見据え、団体長期障害所得補償保険（GLTD）の導入を決定しました。社員の幸せを最優先する企業理念を持つ常石グループにとって、このGLTD導入はどのような意味を持つのでしょうか。

その導入経緯、社内での反響、そして『人重視』の経営を推進する上でのGLTDの役割について、常石グループ人事戦略部 部長の佐藤様にお話を伺いました。

常石グループ様のGLTD導入のポイント

POINT1 グループ従業員の長期的な生活と安心を補償できること

POINT2 企業の採用力強化とブランドの価値向上

POINT3 経営リスクを軽減し生産性を安定維持できるという経営判断

Group Profile

設立 : 1903年

従業員数 : 約6,000名（連結）2025年10月1日時点

事業内容 : 造船、海運、環境、商社・エネルギー、ライフ&リゾート

社員の「もしも」を支える GLTD導入の理由と魅力

GLTD導入の背景には、社員の生活と健康を包括的に守りたいという強い思いがありました。社員が病気やケガで長期間働けなくなった場合でも、経済的な不安を感じることなく、治療や療養に専念できる環境を提供することが、社員の幸せに直結すると考えています。GLTDは、こうした社員の「もしも」を支える具体的な施策であり、企業理念を体現する重要なツールとして認識されています。GLTDの魅力は、単なる経済的補償に留まりません。社員が安心して長く働けるという精神的な安定をもたらし、結果的に企業全体のエンゲージメント向上に貢献する点にあると見ています。

社内を動かす「安心」の波 GLTD導入の社内での反響



GLTD導入に対する社内の反響は非常に良好で、社員からは歓迎の声が上がっています。社長自らが『社員の幸せ』を最優先する姿勢を打ち出し、役員ワークショップを通じてこの理念が全社に浸透しつつある中でGLTDは『人重視』の経営を具体的に示す施策として受け入れられています。

この取り組みは、社員の会社への信頼感をさらに深め、ポジティブな企業文化を醸成する上で重要な役割を果たしています。グループ全体での導入を進める中で、社員一人ひとりが「自分たちは大切にされている」と感じることで、組織の一体感がより一層高まることを期待しています。

会社の想いを踏まえ ARMがサポート

ARM社に対しては、制度の導入支援だけでなく、多岐にわたるサポートを期待しています。初期段階での『未然予防』から、退職後の『復職支援』まで、一貫したサポート体制の強化を求めています。特に、精神的な不調を抱える社員の復職支援プログラムや、オンラインリワークといった先進的なサービスの提供に注目しています。社内では部門間の連携が難しい場合もあるため、ARM社には保険の専門家としてだけでなく、メンタルヘルス分野の専門家とも連携し、きめ細やかなサポートを提供することで、社員が安心して復職できる環境づくりを期待しています。

採用競争力を高める鍵 採用活動におけるGLTDの役割

採用活動においてGLTDは、常石グループが「社員を大切にする企業」であることを具体的に示す強力なツールです。単に高い給与や安定した雇用だけでなく、社員の万一の事態に備える手厚い福利厚生があることは、求職者、特に優秀な人材にとって大きな魅力となります。GLTDがあることで、競合他社との差別化を図り、企業としてのブランドイメージを高めることが可能になると思います。これにより、安心して長く働ける環境を求める求職者に響き、採用競争力を高める上で重要な役割を果たすと期待しています。

GLTD（団体長期障害所得補償保険）の詳細・お問い合わせ

<https://www.armg.jp/business/gltld>



株式会社アドバンテッジ リスク マネジメント <https://www.armg.jp>

【東京本社】 東京都目黒区上目黒2-1-1 中目黒GTタワー17階

TEL:03-5794-3870

【大阪支店】 大阪府大阪市北区中之島2-2-7中之島セントラルタワー5階

TEL:06-4707-0612